

Service News [サービス・ニュース]

調べ案内

パスファインダーが追加されました
新しく追加されたパスファインダーは以下の4テーマです。

- 図書館について調べる
- 働き方情報を調べる
- 防災情報を調べる
- 写真を探す(現代)

▶▶パスファインダーとは?▶▶ある特定のテーマについて調べるときに役立つ資料やツールを紹介した「情報検索の道しるべ」です。

- 設置場所: 2Fホール(オレンジゾーン入口横)「調べもの情報コーナー」
- ホームページからもダウンロードできます
日比谷図書文化館HP▶図書フロア▶調べ方のご案内
<http://hibiyal.jp/hibiya/pathfinder.html>

ZONE PICK UP! 2F パープルゾーン
【江戸・東京】の本を集めたゾーン ~9月15日(金)

幕末の世界 ~大政奉還から150年

大政奉還が行われてから150年の節目を迎える今年、幕末期の中心人物や事件、舞台となった場所に関連する資料を紹介いたします。また、同時期に海外で起こった事件や誕生した文学、芸術作品などの文化と照らし合わせることで、幕末とはどういった時代だったのかを様々な視点から今いちど振り返ります。幕末に興味がある方もそうでない方も、ぜひお立ち寄りください。



7月の展示情報 Exhibit Information

- 2F パープルゾーン 特別展「ネイチャーズベスト 傑作写真展」
関連展示(三角台、~8/9) NEW!
- 2F ホール 日比谷カレッジ「眠れていますか? 科学者と睡眠について語る夜」関連展示(~7/7) NEW!
「千代田区生きものさがし 2017」関連展示(~10/31) NEW!
- 3F グリーンゾーン 「見知らんJAPAN~地域の魅力再発見~」(~10/13) NEW!
今注目されている地域創生や地方移住。地域の活性化や魅力を紹介しているフリーペーパーを、その地域について書かれた本とともに展示します。日比谷から日本各地の情報を発信していきます。
- 3F ブルーゾーン 「色と光」(~8/18)
人の心理・行動に影響を与える「色」は、光源・物体・視覚の3つで構成されています。この科学的な性質を紹介した資料をはじめ、文化、文学、アートなど多種多様な方面から「色」と「光」の関係性について考える展示です。

「歴史に学び、未来を読む」
講師 加来耕三(作家)
今年は大政奉還から150年といふこともあり、ペリー来航や坂本龍馬など幕末の事件や人物を例に挙げながら、歴史学の基本姿勢から応用まで、どうすれば歴史を日常生活や仕事に活用することができるのかをわかりやすくお話いただきました。質疑応答も大いに盛り上がり、歴史の見方、考え方が立体的になった、歴史小説と歴史学の違いについて、歴史の事実に対して目を向ける事の重要性に気付かされたなどの声寄せられました。



パワフルで説得力のある講師の語り口に、多くの参加者が引き込まれました。

5/26 (金)

From Chiyoda Public Library ■ 千代田区立図書館からのお知らせ

親子で過ごせる図書館 四番町図書館



大使館や学校などがある閑静な住宅街に位置する四番町図書館。ランドセルを背負った小学生や親子の姿が多く見られます。約10万冊の図書・雑誌・CDの所蔵のほか、別室になっている「こども図書館」と広い授乳室の設置など親子で過ごせる図書館です。

- 基本情報 千代田区立四番町図書館(千代田区四番町1)
■ 平日: 9時~20時、土曜~19時、日祝~17時 ■ 休館日: 第1日曜日
- おはなし会 「にちようびおはなし会」
読み聞かせと工作で楽しむ、おはなし会。毎月第4日曜日、15時~16時
- 「きんようびおはなし会」
約30分の小さなおはなし会。毎週金曜日、16時~、16時30分~(1日2回)



千代田区立日比谷図書文化館 広報誌



© Manoj Shah / Nature's Best Photography



© C.S.Ling / Nature's Best Photography

© Bob Gress / Nature's Best Photography

特別展 世界が見た、驚きと感動の大自然
ネイチャーズベスト 傑作写真展

ネイチャーズベストは世界最大規模の自然写真のコンテストで、毎年、優秀作品をアメリカの Smithsonian 国立自然史博物館で展示、表彰するものです。本展では、1995年から2016年までの選りすぐりの作品を6つのカテゴリーに分けて紹介。自然が繰り広げる、驚きと感動の世界をお楽しみください。

会期 開催中 → 8月9日(水)

- ※休館日 7月17日(月・祝)、7月10日(月)は展示替えのため休室します
- 観覧時間: 平日 10:00~20:00 土曜 10:00~19:00
日祝 10:00~17:00 (入室は閉室の30分前まで)
- 会場: 千代田区立日比谷図書文化館 1階特別展示室
- 観覧料: 一般 300円、大学・高校生 200円
千代田区民・中学生以下、障害者手帳・指定難病受給者証をお持ちの方および付き添いの方1名は無料 ※住所が確認できるもの、学生証、障害者手帳をお持ちください。
- 主催: 千代田区立日比谷図書文化館
- 特別協力: ネイチャーズベストフォトグラフィーアジア
- 協力: Nature's Best Photography、公益財団法人世界自然保護基金ジャパン(WWFジャパン)

本展のみどころ

- ネイチャーズベストの優秀作品約80点を一堂に紹介する展覧会
- 写真展を通じて、自然、アウトドアの楽しさと環境保護の重要性を体感

展示構成

- 1 野生動物 WILDLIFE
- 2 鳥、スモールワールド BIRDS, SMALL WORLD
- 3 海の生き物 OCEANS
- 4 愛らしい動物たち ANIMAL ANTICS
- 5 風景 自然のアート LANDSCAPES / ART IN NATURE
- 6 活躍する日本人写真家 JAPANESE PHOTOGRAPHERS

ギャラリートーク

- 日時: 7月22日(土) 13:00~13:30
- 場所: 日比谷図書文化館 1階 特別展示室
- 講師: 園部 大輔 (山岳風景写真家)
- 定員: 30名程度
- 参加費: 無料 (特別展の当日利用券が必要となります)
- 申し込み: 不要 ※直接会場にお越しください。

calendar 開館時間: 平日10時~22時 ■ 土曜10時~19時 ■ 日祝10時~17時 ■ 休館日

2017年 7月							2017年 8月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1			1	2	3	4	5
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30	31		
30	31												

お問合せ先: 千代田区立日比谷図書文化館
〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 TEL: 施設代表 03-3502-3340 図書総合カウンター 03-3502-3343 URL: <http://hibiyal.jp>



access
〔都営地下鉄〕
● 三田線「内幸町駅」A7出口 徒歩3分
● 丸ノ内線「東京メトロ」
● 日比谷線「霞ヶ関駅」B2出口 徒歩3分
● 千代田線「霞ヶ関駅」C4出口 徒歩3分
JR「新橋駅」徒歩10分
※当施設に駐車場・駐輪場はございません。公共交通機関をご利用下さい。

7・8月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリーに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

7/7 (金) 千代田区民講座
日比谷公園の不思議 激動の歴史をひもとく
 講師：高橋 裕一(元日比谷公園管理所長)

江戸時代に入江から土名巨野にかけて、明治時代には陸軍練兵場として誕生し、関東大震災の激動の歴史(主催:NPO法人 山種美術大学 日比谷図書文化館)

■日時:7月7日(金)19:00~20:30(18:30開場)
 ■会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員:60名 ■参加費:無料

定員に達した為 受付を終了しました。



7/7 (金) 眠れていますか? 科学者と睡眠について語る夜

講師：柳沢 正史(筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構 機構長/教授)
 ファシリテーター：樋江井 哲郎(筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構 科学コミュニケーター)

仕事や家事が忙しくてゆっくり眠れない日が続いていませんか?本講演前半では睡眠研究の世界的権威である講師が最新の研究成果を交えながら睡眠について解説し、後半では講師と皆さんで、私たちがどうしたらよい睡眠がとれる生活を送ることができるかを、対話も交えて考えていきます。七夕の夜に、安眠できる社会への願いを込めませんか?

■日時:7月7日(金)19:00~21:00(18:30開場)
 ■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 ■定員:200名 ■参加費:1000円



7/12 (水) 私のターニングポイント ~どうやって壁を乗り越えたか 歩~私の生き方・考え方

講師：宮本 慎也(NHKプロ野球解説)、吉井 妙子(ジャーナリスト)

ヤクルトスワローズ入団時に野村克也監督から“自衛隊”(堅牢な守備でヒット性の当たりも「有事」になる前に自衛してしまう)と、あだ名を付けられたという宮本慎也氏が、いかにして2000本安打を記録し、“球界の頭脳”と呼ばれるようになったのか。ジャーナリストの吉井妙子氏との対談形式で語ります。(主催:公益財団法人上廣倫理財団/共催:日比谷図書文化館)

■日時:7月12日(水)19:00~20:30(18:30開場)
 ■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 ■定員:200名 ■参加費:500円(千代田区民、学生無料)
 ※学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。

【次回予告】私のターニングポイント ~どうやって壁を乗り越えたか「逆境をチャンスに」

■講師:西崎 幸広(プロ野球解説)／吉井 妙子(ジャーナリスト)
 ■日時:8月30日(水)19:00~20:30(18:30開場)



7/21 (金) 池波正太郎と「鬼平犯科帳」の魅力 ~鬼平犯科帳誕生50年~

講師：鶴松 房治(池波正太郎記念文庫、池波正太郎真田太平記館・指導員)

時代小説をはじめエッセイ、戯曲、絵画等多くの作品を残した池波正太郎。生前、私的なアシスタントを務め身近にいた鶴松氏が、彼の作家としての特長と人となりを紹介するほか、今年誕生から半世紀を迎え、ドラマ、劇画、さらにアニメとなって裾野を広げる『鬼平犯科帳』を検証し、その魅力に迫ります。

■日時:7月21日(金)19:00~20:30(18:30開場)
 ■会場:地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 ■定員:200名 ■参加費:1000円(千代田区民500円)



〈参加申込〉電話(03-3502-3340)またはEメール(college@hibiyal.jp)にて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。**千代田区民料金のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。**

7/22 (土) ピースビレッジ 第54回 **建築/映画の実践から見えてきた生活と表現、そして「われわれ」について**

講師：町田 泰彦(建築家)

益子町を拠点に建物を中心としつつ周辺全体を「場」として設計してきた経験から今後さまざまな変化や困難が予想される社会で、「わたし」と「われわれ」はどのように立ち向かっていけばいいのか。その存在の意味を感じる「場」を設けたいと思います。(主催:NPO法人 世界連邦21世紀フォーラム/共催:日比谷図書文化館)

■日時:7月22日(土)14:00~16:30(13:30開場)
 ■会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員:60名 ■参加費:3000円



7/26 (水) アップデートされることば ~辞書編集者を悩ませる、日本語⑤

講師：神永 暁(国語辞典編集者)

付度(そんたく)、忸怩(じくじ)、すべからく……国の最高機関である国会においても、本来の意味や使い方とは違う日本語がたくさん出現しています。国語辞典ひとすじ38年目の編集者が巷で話題の日本語をピックアップ。それぞれの言葉の歴史を紐解き、解説します。(主催:株式会社ネットアドバンス/共催:日比谷図書文化館)

■日時:7月26日(水)19:00~20:30(18:30開場)
 ■会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
 ■定員:60名 ■参加費:1000円



7/28 (金) 写真フィルムを後世に伝える ~収集・保存・アーカイブ~

講師：松本 徳彦(公益社団法人日本写真家協会副会長)

激動の時代から現在までのさまざまな事象をとらえた写真フィルムが危機に瀕しています。東京都写真美術館の設立にも尽力された講師に、日本写真保存センターの活動や保存の実際について、また美術館設立までの道のりをお話いただき、時代を記憶する写真アーカイブの必要性について考えます。

■日時:7月28日(金)19:00~20:30(18:30開場)
 ■会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
 ■定員:60名 ■参加費:1000円



8/2 (水) 家庭料理の変遷 ~明治から昭和へ~

講師：江原 絢子(東京家政学院大学名誉教授)

家庭料理は、明治後期の社会の変化により、西洋文化の影響が加わり少しずつ変化します。その変化や発展に影響を与えたと考えられる料理書、雑誌、学校教育などの具体的内容を通して、新しい料理が家庭に定着することになった経緯とその変化、さらに残された課題について考えたいと思います。

■日時:8月2日(水)19:00~20:30(18:30開場)
 ■会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
 ■定員:60名 ■参加費:1000円



8/4 (金) 世界の音楽 2017-2018 **キルギスの伝統楽器コムズの調べ**

講師：ウメトバエワ・カリマン(コムズ演奏家)

キルギスは天山山脈などの山々に囲まれ、「中央アジアのスイス」「シルクロードの十字路」とも呼ばれ、美しい自然と豊かな歴史を持っています。昔、シベリアのエニセイ川のほとりに住んでいた遊牧民が西方へ南下し、今のキルギスに定住したと言われ、「肉好きは西方(キルギス)へ、魚好きは東方(日本)へ」という話もあります。そんな自然と歴史をイメージしながらコムズの調べに耳を傾けてみませんか。

■日時:8月4日(金)19:00~20:30(18:30開場)
 ■会場:4階 スタジオプラス(小ホール) ■定員:60名 ■参加費:1000円



8/9 (水) 日本の女性画家たち ~平安時代から近・現代まで~ **第1回 上村松園とその時代**

講師：三戸 信恵(山種美術館特別研究員)

日本の歴史に名を刻む画家はそのほとんどが男性です。しかし、上村松園をはじめとして、それぞれの時代に柔軟に対応しながら、画家としての足跡を残してきた女性たちが、実は少なからず存在しているのです。この講座では、知られざる女性画家の多彩な歴史とその活動のあり方についてひも解いていきます。

■日時:8月9日(水)19:00~20:30(18:30開場)
 ■会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
 ■定員:60名 ■参加費:1000円

上村松園《蛭》1913(大正2) 絹本・彩色 山種美術館



8/19 (土) アジアの子どもたちの読書環境と「絵本を届ける運動」ワークショップ

講師：鈴木 晶子(公益社団法人シャンティ国際ボランティア会 広報課 課長)

カンボジア、ラオス、ミャンマーなどアジアの国々の子どもたちは、どのような読書環境に置かれているのでしょうか。その子どもたちにとって「本を読む」ことの意味、そして図書館とはどんな存在なのでしょうか。現地のお話を聞いた後は、絵本に翻訳シールを貼るワークショップを行います。

■日時:8月19日(土)14:00~16:00(13:30開場)
 ■会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
 ■定員:40名 ■参加費:1500円 ※材料費込み。完成した絵本はアジアの子どもたちに贈る為、持ち帰りできません。



8/26 (土) 古書で紐解く近現代史セミナー第27回 **ブックデザインが果たすべき使命 「造本装幀コンクール」50年を振り返って**

講師：柏木 博(武蔵野美術大学名誉教授)

「造本装幀コンクール」審査員長を務める講師が、ブックデザインの歴史と当コンクール50年を振り返り、今後の出版産業・出版文化の発展において「造本装幀」が果たすべき使命について語ります。

■日時:8月26日(土)14:00~15:30(13:30開場)
 ■会場:4階 スタジオプラス(小ホール)
 ■定員:60名 ■参加費:1000円(千代田区民・学生500円)
 ※ 学生の方は、当日、受付で学生証をご提示ください。



◆古文書塾でらこや7月期 本講座開講◆

古文書専門塾として、初心者から経験者まで楽しみながら学んで頂ける「古文書塾でらこや」。多種多様な講座を開講します。

■日時:7月4日(火)~ 順次開講
 ■会場:4階セミナールーム(会議室)
 ■定員:各23名(事前申込順)
 ■参加費:各13,650円(全5回/各回90分/3ヶ月分。別途資料代500円)
 ※でらこやに関する資料をご希望の方には無料で送付いたします。
 ■お問い合わせ:電話03-3502-3340



	講座名	曜日・時間	開講日
特別講座 (3ヶ月) 90分 全5回	自分の花押(かおう)を持ってみませんか	(火)13:30~	7/4
	大久保利通の手紙を読む	(火)19:00~	7/4
	浮世絵を読む【紅色クラス】	(水)10:30~	7/5
	浮世絵を読む【藍色クラス】	(水)10:30~	7/12
	江戸美人を造る『都風俗化粧(けわい)伝』を探る	(水)13:30~	7/12
	豪商 三井の最高意思決定「大元方」の史料を読む	(水)19:00~	7/12
	江戸を楽しむ 一統・江戸の寺社あれこれ	(木)18:30~	7/6
	絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎(入門編)	(土)10:30~	7/8

特別研究室 企画 展示

触れて発見! 時代で比べるブックデザイン展

「造本装幀コンクール」受賞作品 X 内田嘉吉文庫

読書推進を図り、出版文化の発展を促すことを目的に、毎年優れたブックデザインを表彰する「造本装幀コンクール」第50回(2016年度)受賞作品を、内田嘉吉文庫の特色のある装幀本とともに展示し、ブックデザインの歴史の一部を紹介します。展示本は、じかに触れていただくことができます。

7/18(火)
10/1(日)



『内田嘉吉文庫稀観書集覧』(装幀:小村雪岱/1937年)

ポモータ広報室より

特別展「世界が見た、驚きと感動の大自然 ネイチャーズベスト傑作写真展」が始まりました!作品に向き合うと、ポスターやパソコンの画面上では分からない迫力に圧倒されます。是非、会場で世界中のカメラマンが捉えた決定的な瞬間をご覧ください。また、今回は特別展示室内でのみ作品の写真撮影が可能となっています。動物と同じポーズで写ってみたり、大自然を背景にしてみたり、来場の記念となる1枚を撮影してみたいか? (撮影に関しては、注意事項がございます。詳細は会場内にてご確認ください。)